

令和7年度 香川県立図書館の図書館評価

I 図書館評価の概要

香川県立図書館では、運営の改善と図書館サービスの向上を図るため、図書館運営に関する評価の指標及び目標を設定し、運営状況について評価を行う「図書館評価」を実施した。

<総括>

- 評価指標の数値目標の達成状況は、16項目のうち、評価A(数値目標の達成率100%)が11項目、評価B(数値目標の達成率80%以上100%未満)が5項目となり、評価C(数値目標の達成率80%未満)はなかった。
- 重点目標「1. 図書館資料の整備充実」のうち、蔵書冊数については、県民の課題解決支援に役立つ資料や調査研究に必要な専門的資料などの幅広い収集に取り組み、数値目標を達成した。また郷土資料受入冊数についても、積極的な収集に努め、数値目標を達成した。引き続き、県民に必要なとされる資料や市町立図書館等への支援に必要な資料の整備充実に努める。
- 重点目標「2. 図書館サービスの充実、強化」については、11項目中6項目について数値目標を達成した。入館者数については3年連続で40万人を超え、過去3年間を通じて新規登録者は増加傾向にある。個人貸出冊数やレファレンス件数等5項目については、目標を達成することができなかった。入館者数については回復基調を持続させ、資料貸出の増加やレファレンス件数に結びつけるために、サービスの充実とその広報に努める。
- 重点目標「3. 読書普及活動の充実」及び「4. 文化活動の推進」については、3項目とも数値目標を達成した。特に、イベント等の開催回数については、今年度は特に、「こども図書館船事業」に協力したイベント開催など、館外での読書活動推進に積極的に取り組み、数値目標を大幅に上回る結果となった。

重点目標	評価指標	数値目標	実績	達成率	評価
1. 図書館資料の整備充実	① 蔵書冊数	1,158,000冊	1,158,927冊	100.1%	A
	② 郷土資料受入冊数	2,000冊	2,359冊	118.0%	A
2. 図書館サービスの充実、強化	③ 入館者数	400,000人	422,583人	105.6%	A
	④ 新規登録者数	3,000人	3,166人	105.5%	A
	⑤ 新規登録者数に占めるオンライン新規登録者数の割合	4%以上	4.5%	112.5%	A
	⑥ 個人貸出冊数	755,000冊	733,471冊	97.1%	B
	⑦ 全貸出数に占める課題解決支援コーナー総貸出冊数の割合	7.5%以上	7.2%	96.0%	B
	⑧ デジタルライブラリーアクセス数	600,000件	1,277,206件	212.9%	A
	⑨ レファレンス件数(クイックレファレンスを除く)	1,400件	1,206件	86.1%	B
	⑩ 協力貸出冊数	6,000冊	5,873冊	97.9%	B
	⑪ 児童団体貸出・学校支援文庫貸出冊数	8,100冊 団体3,400冊 学校4,700冊	8,347冊 団体3,727冊 学校4,620冊	103.0%	A
	⑫ 県内公共図書館職員向け研修満足度	90%以上	98%	108.9%	A
	⑬ 来館者満足度	90%以上	89%	98.9%	B
3. 読書普及活動の充実	⑭ ホームページアクセス数(図書館トップページ)	370,000件	484,420件	130.9%	A
	⑮ 展示等の実施回数	65回以上	79回	121.5%	A
4. 文化活動の推進	⑯ イベント、講座、研修会等の開催回数	20回以上 (うち子ども向け7回以上)	40回 (うち子ども向け24回)	200.0%	A (A)

評価A:数値目標を達成した(達成率100%以上)
 評価B:数値目標を概ね達成した(達成率80%以上100%未満)
 評価C:数値目標を下回った(達成率80%未満)

Ⅱ 図書館評価の達成状況

重点目標	評価指標	数値目標	7年度実績	達成率	評価
1. 図書館資料の整備充実	① 蔵書冊数	1,158,000冊	1,158,927冊	100.1%	A

<達成状況等>

- 蔵書については、資料受入冊数が15,742冊（内訳：購入11,322冊、寄贈4,038冊、再用・その他382冊）で、廃棄冊数が2,161冊となり、差し引き13,581冊増加して蔵書冊数が1,158,927冊と、数値目標を927冊上回った。
- 引き続き、県民の課題解決に役立つ資料を提供するコーナーの充実のため、県民が生活上、仕事上に役立つ資料や社会的に関心の高い資料に留意して収集したほか、調査研究に必要な専門的な資料、郷土資料、児童資料を重点的に収集した。

4年度実績	5年度実績	6年度実績
1,114,739	1,129,868	1,145,346

<今後の取組み>

- 毎年度実施する図書館利用に関するアンケートにおいて、取り組んでほしい要望として常に「新しい図書や雑誌の充実」が最も多く寄せられていることから、課題解決支援の資料、郷土資料、児童資料に加え、本県の中核図書館として市町立図書館を支援するための資料などを重点的に収集する。
- 郷土・児童資料の優先購入を継続する一方で、文芸書は定評のある著者の作品や受賞作等、質の高い作品を重点的に収集し、家政、芸術、趣味など、類書が多数出版される分野については厳選するなど、適切な資料の収集に努める。
- 読書バリアフリーの普及・啓発を進めるため、デジ資料や大活字本、朗読CDといったアクセシブルな資料の充実に取り組む。

重点目標	評価指標	数値目標	7年度実績	達成率	評価
1. 図書館資料の整備充実	② 郷土資料受入冊数	2,000冊	2,359冊	118.0%	A

<達成状況等>

- 郷土資料の受入冊数については、県、市町及び関係機関等に対して行政資料の寄贈を積極的に呼びかけたほか、香川県に関する幅広い分野の資料を購入するなど郷土資料の充実にも努め、数値目標を358冊上回った。
- 郷土資料の受入冊数の内訳は、購入389冊、寄贈1,816冊、再用・その他154冊となった。

4年度実績	5年度実績	6年度実績
1,981	2,315	1,853

<今後の取組み>

- 一般に流通しない郷土資料についても網羅的に受け入れるため、行政機関や県民に寄贈を呼びかけるとともに、郷土資料の発行についての情報収集を一層促進し、県内全域にわたる幅広い分野の資料収集に積極的に努める。
- 収集した郷土資料については、児童生徒の探究的な学習から専門的な調査研究に至るまで幅広く活用できるよう資料整備を進めるとともに、代替不可能な地域の文化資源として永年保存に努める。

重点目標	評価指標	数値目標	7年度実績	達成率	評価
2. 図書館サービスの充実、強化	③ 入館者数	400,000人	422,583人	105.6%	A

<達成状況等>

- 入館者数は、数値目標を22,583人(5.6%)上回り、3年連続で40万人を超えた。
- 前年度比で21,413人(5.3%)増加しているが、これは、5月以降高松市中央図書館がリニューアル工事に伴い休館していることにより、高松市図書館の利用者の一部が県立図書館を利用するようになったことによると考えられる。

4年度実績	5年度実績	6年度実績
396,949	400,964	401,170

<今後の取組み>

- 立ち寄りやすさと居心地の良さを備えつつ、『読む・集う・学ぶ』の機能を一体的に展開することで、県民の生涯学習活動を支える基盤を一層強化する。
- 当館の本来の機能である資料・情報の提供を確実に実施するとともに、市町立図書館や関係機関、ボランティア団体等との連携を一層密にし、新たな取組みを着実に推進する。
- 瀬戸内の島々などでの読書や体験活動等を通じて、子どもの心の成長を育み、思い出に残る体験を提供する子ども図書館船事業への協力を通じ、図書館への注目を集め、来館者増に努める。

重点目標	評価指標	数値目標	7年度実績	達成率	評価
2. 図書館サービスの充実、強化	④ 新規登録者数	3,000人	3,166人	105.5%	A

<達成状況等>

- 新規登録者数は、前年度比で250人(8.6%)増加し、数値目標を166人(5.5%)上回った。高松市中央図書館の長期休館による影響が波及し、県立図書館での新規登録が上積みされる結果につながったと考えられる。
- 年代別の新規登録者数を前年度と比較すると、0～12歳:57人(6.5%)減、13～18歳:9人(6.4%)増、19～39歳:101人(9.6%)増、40～59歳:115人(20.5%)増、60歳以上:82人(28.7%)増となっており、0～12歳を除く世代で増加した。

4年度実績	5年度実績	6年度実績
3,060	2,763	2,916

<今後の取組み>

- 新規登録者の増加傾向を維持するため、関係機関でのポスター掲示やチラシ配布によるPR活動を強化するとともに、見学等で来館した児童や教育関係者への利用案内を徹底するなど、あらゆる機会を通じて図書館の魅力を伝え、利用を促していく。
- こども図書館船ほんのもり号寄港イベントや産総研四国センター一般公開イベントなど、図書館内に留まることなく自ら地域へ積極的に出向き、図書館の利用を呼びかける。

重点目標	評価指標	数値目標	7年度実績	達成率	評価
2. 図書館サービスの充実、強化	⑤ 新規登録者数に占めるオンライン新規登録者数の割合	4%以上	4.5%	112.5%	A

<達成状況等>

- 個人の新規登録者3,166人のうち、スマートフォン及びwebサイトからのオンライン新規登録者は141人となり、新規登録者数に占めるオンライン新規登録者の割合は4.5%となり、数値目標を0.5%上回った。オンライン新規登録者数は、前年度比で44人(45.4%)増加した。
- オンライン利用者登録者を年代別に比較すると、0～12歳:2人(1.4%)、13～18歳:1人(0.7%)、19～39歳:40人(28.4%)、40～59歳:80人(56.7%)、60歳以上:18人(12.8%)であった。

5年度実績	6年度実績
6.4%	3.3%

※令和5年12月から開始

<今後の取組み>

- デジタル技術による利便性向上を目的としたオンライン利用者登録申請の普及に向け、これまで以上に積極的な情報発信を展開する。
- 館内に限らず、関係機関と連携したイベントにおいて、オンライン上での申請手続きを分かりやすく案内するガイドを配布するなど広報活動を工夫して、新規登録者数増加を目指す。

重点目標	評価指標	数値目標	7年度実績	達成率	評価
2. 図書館サービスの充実、強化	⑥ 個人貸出冊数	755,000冊	733,471冊	97.1%	B

<達成状況等>

- 令和7年度の個人貸出冊数は733,471冊となり、数値目標を21,529冊(2.9%)下回ったが、前年度より11,937冊(1.7%)増加し、4年ぶりに前年度を上回った。
- 個人貸出冊数が過去10年間で最も多かった平成28年度(948,870冊)と比較すると、全体で215,399冊(22.7%)減。年代別で、0～6歳:733冊(1.5%)減、7～12歳:52,706冊(40.1%)減、13～15歳:4,292冊(32.4%)減、16～18歳:2,494冊(31.5%)減、19～22歳:2,518冊(23.3%)減、23～29歳:14,601冊(38.2%)減、30歳代:71,912冊(39.3%)減、40歳代:72,689冊(37.7%)減、50歳代:4,451冊(4.7%)減、60歳代:54,281冊(36.0%)減、70歳代:53,684冊(88.6%)増、80歳以上:11,594冊(75.0%)増となっている。70歳以上を除く各世代において減少しており、書籍に頼らなくてもインターネットで情報を入手できるなど読書環境の変化が、個人貸出冊数の減少につながっているものと考えられる。

4年度実績	5年度実績	6年度実績
802,661	741,992	721,534

<今後の取組み>

- 地域の課題解決や社会人の学び直しを支援するため、日常生活や仕事に役立つ資料、社会的関心の高い分野の資料、調査研究に必要な専門的資料など、利用者の多様なニーズに沿った資料の収集に努める。
- 多彩なテーマによる資料展示などを通じて、幅広い層へ蔵書の魅力を効果的に発信し、利用者と図書との新たな出会いを創出することで、貸出冊数の増加を図る。

重点目標	評価指標	数値目標	7年度実績	達成率	評価
2. 図書館サービスの充実、強化	⑦ 全貸出数に占める課題解決支援コーナー総貸出冊数の割合	7.5%以上	7.2%	96.0%	B

<達成状況等>

- 令和7年度の個人貸出に加え図書館等団体への貸出を含む総貸出冊数743,732冊のうち、課題解決支援コーナー総貸出冊数は53,319冊（子育て支援コーナー16,518冊、健やか生活応援コーナー30,205冊、ビジネス情報・しごと応援コーナー6,596冊）で、総貸出冊数に占める割合は7.2%となり、数値目標にわずかに届かなかった。

4年度実績	5年度実績	6年度実績
7.6%	7.5%	7.4%

<今後の取組み>

- 県民の課題解決に役立つ資料を積極的に収集するとともに、関係機関のパンフレット等を配布することで常に新鮮な情報を提供し、各コーナーのさらなる魅力向上に努める。
- 子育て世代のニーズに寄り添ったテーマ、中高年に多い病気や最新の医療・健康に関するテーマ、ビジネスに関わる人の関心の高いテーマでそれぞれ企画展示を実施し、資料の利用促進につなげる。

重点目標	評価指標	数値目標	7年度実績	達成率	評価
2. 図書館サービスの充実、強化	⑧ デジタルライブラリーアクセス数	600,000件	1,277,206件	212.9%	A

<達成状況等>

- 江戸時代から昭和時代に作成された絵図や文書など、当館所蔵の郷土資料をデジタル化してインターネット上で公開するデジタルライブラリーについては、令和7年度、数値目標の2倍以上の1,277,206件のアクセスがあった。想定を超えるアクセス数の背景には、自動でデータを取得する処理(スクレイピング)の可能性があると考えられる。
- 11月に新たに40点のコンテンツを追加し、公開点数が505件となった。

4年度実績	5年度実績	6年度実績
360,408	459,814	620,797

<今後の取組み>

- デジタルライブラリーを通じて貴重な郷土資料を手軽に利用ができるよう、引き続き公開コンテンツの充実に努める。
- インターネット上で学習や調査研究に活用できるデジタルライブラリーの積極的な広報に取り組む。

重点目標	評価指標	数値目標	7年度実績	達成率	評価
2. 図書館サービスの充実、強化	⑨ レファレンス件数 (クイックレファレンスを除く)	1,400件	1,206件	86.1%	B

<達成状況等>

- レファレンス件数については過去3年間の実績の平均を数値目標にしたが、口頭による質問が、昨年度の実績との比較で373件(35.7%)減少した影響により、数値目標を194件(13.9%)下回った。
- 内訳は、来館者の口頭での質問が672件、電話での質問が335件、文書での質問が75件、メールでの質問が124件であった。
- 資料や情報の探し方をテーマごとに案内する「香川県立図書館調べ方ガイド」を、2テーマ作成した。
- 国立国会図書館「レファレンス協同データベース」に、当館が登録した「レファレンス事例」や「調べ方マニュアル」に、令和7年度1,121,586件のアクセスがあった。

4年度実績	5年度実績	6年度実績
1,275	1,259	1,712

<今後の取組み>

- レファレンスサービスに不可欠な参考資料や基本図書の一層の充実に努めるとともに、課題解決支援に役立つ情報を提供し、質の高いレファレンスサービスの提供に努める。
- 特定のテーマに関する資料や情報を探するための、調査や研究に役立つ「調べ方マニュアル」作成を継続し、県民を支援する。
- 県民が調査や研究を行う際、インターネットを通じて、当館の図書館資料という確かな根拠に基づいた、質の高いレファレンス事例を容易に参照できるよう、国立国会図書館の「レファレンス協同データベース」への事例登録に取り組む。

重点目標	評価指標	数値目標	7年度実績	達成率	評価
2. 図書館サービスの充実、強化	⑩ 協力貸出冊数	6,000冊	5,873冊	97.9%	B

<達成状況等>

- 協力貸出冊数については、遠隔地の利用者に向けてホームページなどを通じ、協力貸出制度の周知に努めるなどしたが、数値目標を127冊(2.1%)下回った。
- 内訳は、市町立図書館へは5,844冊、公立図書館未設置町(直島町、琴平町)の公民館等へは29冊貸し出した。
- 協力貸出冊数の1館当たりの平均は184冊で、最多貸出館は800冊であった。

4年度実績	5年度実績	6年度実績
6,038	5,605	5,990

<今後の取組み>

- 本県における中核図書館として、市町立図書館を支援するために必要な資料を重点的に収集し、市町立図書館への支援に努める。
- 引き続き、市町図書館を通じた協力貸出に関する積極的な周知に努める。
- 県立図書館と市町立図書館等における、協力貸出資料の搬送を行う協力便については、継続的に週2回の運行に努める。

重点目標	評価指標	数値目標	7年度実績	達成率	評価
2. 図書館サービスの充実、強化	⑪ 児童団体貸出・学校支援文庫貸出冊数	8,100冊 団体3,400冊 学校4,700冊	8,347冊 団体3,727冊 学校4,620冊	103.0%	A

<達成状況等>

- 児童団体貸出・学校支援文庫貸出については、数値目標を247冊(3.0%)上回った。
- 学校支援文庫貸出冊数の内訳は、小学校版が4,280冊、中学校版が340冊であった。令和6年度と比較して小学校版が300冊(6.6%)減少する一方、中学校版が60冊(21.4%)増加した。
- 児童団体貸出については、放課後児童クラブや児童発達支援施設などの利用が増加した結果、令和6年度と比較して444冊(13.5%)増加した。
- 学校支援文庫については、県教育センターでの「新規採用教員研修」や「新任司書教諭研修」においてセット内容や利用方法を周知するとともに、県情報ネットワーク(庁内LAN)の掲示板において時宜に合ったセットを紹介するなど、利用促進に努めた。

4年度実績	5年度実績	6年度実績
9,307冊 団体3,509冊 学校5,798冊	8,905冊 団体3,345冊 学校5,560冊	8,143冊 団体3,283冊 学校4,860冊

<今後の取組み>

- 生涯にわたり、自ら学ぼうとする習慣を身に付けることの重要性が増すなか、子どもの読書習慣確立に向け、児童団体貸出及び学校支援文庫の利用促進を図る。特に、学校支援文庫については、これまで同様、小学校及び中学校の教員研修の機会を捉えた周知に取り組む。
- 学校支援文庫については、庁内LANでのおすすめセットの紹介を隔月から月1回程度に回数を増やして教員向けの情報提供を強化するとともに、利用の多いテーマに新たなセットを追加する。
- 児童団体貸出の新規登録促進のため、関係機関と連携し、機会を捉えた制度周知を強化する。

重点目標	評価指標	数値目標	7年度実績	達成率	評価
2. 図書館サービスの充実、強化	⑫ 県内公共図書館職員向け研修満足度	90%以上	98%	108.9%	A

<達成状況等>

- 県内公共図書館職員向け研修満足度は、研修会（初任者・専門）及び県図書館大会での参加者アンケートの結果に基づき、関心の高いテーマや時宜に応じた内容で研修会等を開催した結果、数値目標を8%上回った。
- 県図書館協会の予算を有効活用し、著名な大学教授等を講師として積極的に招聘したことが、参加者の満足度が高くなった要因と思われる。

6年度実績	※5年度以前の記録なし
94%	

<今後の取組み>

- 市町立図書館職員の専門的な知識・技術の習得を目的に開催する研修については、参加者の満足度が高められるよう、要望の多いテーマや時宜に応じた内容で開催する。
- 研修開催に際しては、テーマ・内容に合わせて開催規模や実施方法を柔軟に変えるなどして、研修会の一層の充実を図る。

重点目標	評価指標	数値目標	7年度実績	達成率	評価
2. 図書館サービスの充実、強化	⑬ 来館者満足度	90%以上	89%	98.9%	B

<達成状況等>

- 来館者満足度は、数値目標を達成することができなかったものの、来館者満足度を評価指標として設定以来継続して高い満足度を得られている。
- 令和8年2月3日（火）～2月8日（日）の6日間、来館者及び非来館者を対象にアンケート調査票及び香川県電子申請・届出システムにより「図書館利用に関するアンケート」調査を実施した。
713人（18歳以下62人（8.7%）、19～39歳130人（18.2%）、40～59歳196人（27.5%）、60～74歳211人（29.6%）、75歳以上111人（15.6%）、無回答3人（0.4%））の回答のうち、当館サービスの満足度についての質問に対して、満足387人（54.4%）、やや満足243人（34.2%）との回答を得た。

4年度実績	5年度実績	6年度実績
89%	91%	89%

<今後の取組み>

- アンケート調査結果において、当館サービスを評価する点としてあげられた、「豊富な所蔵資料」や「職員の親切な対応」、「快適な利用環境」については、引き続き高い評価が得られるよう、資料の充実や親しみの持てる利用者対応、適切な施設管理に努める。
- アンケート調査において常に要望が高い「新しい資料の充実」を図るため、資料購入費の獲得に引き続き取り組み、安定的に高い来館者満足度を得られるように努める。

重点目標	評価指標	数値目標	7年度実績	達成率	評価
3. 読書普及活動の充実	⑭ ホームページアクセス数（図書館トップページ）	370,000件	484,420件	130.9%	A

<達成状況等>

- ホームページアクセス数については、数値目標を114,420件（30.9%）上回った。
- アクセスの内訳は、Webサイト392,226件、スマートフォンサイト63,811件、市町立図書館用サイト28,383件となった。
- 利便性向上のため、令和7年4月よりインターネットによる予約の対象をこれまでの貸出中資料に加え、在庫資料に拡大したことが、当館ホームページへのアクセス増につながったものと考えられる。

4年度実績	5年度実績	6年度実績
352,743	366,670	392,933

<今後の取組み>

- アクセス数増加につながったインターネットでの在庫資料の予約については、引き続き利用促進と安定運用に努める。
- ホームページは当館における重要な情報発信ツールであることから、引き続き、企画展示やイベントなどの開催情報をタイムリーに発信するほか、ブックリスト、調べ方ガイドなどコンテンツ充実に努め、ホームページの魅力向上に努める。

重点目標	評価指標	数値目標	7年度実績	達成率	評価
3. 読書普及活動の充実	⑮ 展示等の実施回数	65回以上	79回	121.5%	A

<達成状況等>

- 展示等の実施については、各コーナーにおいて、定期的な展示に加え、時宜をとらえた企画で随時実施し、数値目標を14回（21.5%）上回った。
- 展示コーナーでは、中国四国農政局や菊池寛記念館による企画展示など、県内のさまざまな団体と連携した展示を開催するとともに、展示テーマに沿った所蔵資料を展示コーナーに併せて配架した。
 - ・展示コーナー企画展示等18回（うち他の機関と連携・協力した展示7回）
 - ・イベント関連本展示等13回
 - ・子育て支援コーナー企画展示4回
 - ・健やか生活応援コーナーミニ展示6回
 - ・ビジネス情報・しごと応援コーナーミニ展示6回
 - ・Young Generation コーナーミニ展示など13回
 - ・児童資料コーナー「今月の本」など15回
 - ・雑誌コーナー「なつかしのバックナンバー」3回
 - ・郷土資料コーナーミニ展示1回

4年度実績	5年度実績	6年度実績
71回	78回	79回

<今後の取組み>

- 展示コーナーでの企画展示については、新規利用者の獲得や資料貸出の促進につなげるため、外部機関との連携を強化し、利用者の興味を喚起する新鮮で魅力あふれる展示を企画・実施する。

重点目標	評価指標	数値目標	7年度実績	達成率	評価
4. 文化活動の推進	⑩ イベント、講座、研修会等の開催回数	20回以上 (うち子ども向け7回以上)	40回 (うち子ども向け24回)	200.0% (342.9%)	A (A)

<達成状況等>

- イベント、講座、研修会等については、開催回数40回(うち子ども向け24回)となり、数値目標の2倍となった。
- 利用者からの要望にこたえ、「The Night Library」や「えほんde カルタ」など子ども向けのイベントや謎解きや「辞書人狼」といったヤングアダルト世代向けのイベントを増やした。
- 子どもの読書活動推進に取り組む人材育成のため、県外から講師を招き、公共図書館・学校図書館の教職員等を対象とした「子どもと本をつなぐ講座ー読み聞かせから一人読みへー」を開催した。
- こども図書館船事業に協力したワークショップを県内各地で開催し、図書館や読書への興味を喚起して、子どもの読書活動推進を図った。

・イベント31回

子ども読書まつり4回、図書館コンサート3回、高校生のための1日司書体験1回、謎解きイベント1回、図書館でクリスマスパーティ！1回、辞書人狼1回、The Night Library1回、本を紹介してガチャガチャをしよう1回、えほん de カルタ1回、図書館探検2回、職員によるおはなし会3回、「こども図書館船事業」ワークショップ6回、Out of KidZania in かがわ1回、他機関との連携による行事5回

・講座4回

健やか生活応援講座1回、子どもと本をつなぐ講座2回、子育て支援講座1回

・研修会等5回

図書館職員研修会(初任者研修1回、専門研修1回)、香川県図書館大会1回、実務担当者会2回

4年度実績	5年度実績	6年度実績
25回	20回	29回

<今後の取組み>

- 県民の自主的・自発的な学習活動を支援したり、図書館への理解を深めるための、様々な資料を活用した、図書館ならではの催しを企画し開催する。
- 地域の関係機関と連携した企画展示の実施にあたり、展示テーマへの理解を深めるため、関係機関の協力のもと、企画展示に連動するイベントを積極的に開催する。
- 引き続き、子ども図書館船事業に協力し、関連イベントを通じて図書館や読書への興味を喚起し、子どもの読書活動推進を図る。

Ⅲ 外部評価

令和7年度図書館評価の達成状況については、令和8年7月30日開催の令和8年度第1回香川県立図書館協議会において、委員の外部評価を受けた。

<委員からの意見>

- 「⑤新規登録者数に占めるオンライン新規登録者数の割合」について、オンライン利用者登録を図書館として促進したいという意図でこの評価指標があると思うが、その目的に対して数値目標が低く設定されているように見受けられる。図書館としてオンライン登録を積極的に促進するのであれば、オンライン利用者登録によって利用者が受けられるサービス内容を明確化したうえで、広報・周知の取組みを強化することが必要ではないのか。
また、オンライン利用者登録申請は新規登録に限られ、資料貸出カードの再交付申請は受け付けていないとのことであるが、申請画面上でその旨が十分に説明されておらず、改善の余地がある。
- 「⑦全貸出冊数に占める課題解決支援コーナー総貸出冊数の割合」に関連して、課題解決支援事業の各コーナーでは、課題解決に資するチラシやパンフレットの配布が行われており、様々な関係機関と連携しながら運営されていることがうかがえる。そうした機関とのさらなる連携強化がコーナーの充実につながるものと考える。
- 「⑮イベント、講座、研修会等の開催回数」の達成率は大変評価すべきものである。開催の案内があって出席した図書館コンサートには大勢の来場者があり、周知の取組みが功を奏しているように感じられた。単に音楽を楽しむだけでなく、本の紹介も行われるなど図書館利用につながるような内容となっており、工夫が見られた。